



個人の価値観やライフスタイルが多様化するなか、人の暮らし方からヒントを得て、幸せを感じることができる豊かな住生活、施設環境、コミュニティの提案を目指しています。

略歴

博士（学術）、一級建築士
日本女子大学大学院人間生活学研究科
生活環境学専攻博士後期課程修了
日本女子大学家政学部住居学科 助手及び助教、
日本女子大学建築デザイン学部建築デザイン
学科 助教を歴任

所属学会など

日本建築学会
日本家政学会
都市住宅学会

研究紹介

「住み継ぎ」を可能にする住環境に関する研究

建物の長寿命化が進み、住まいは何代も住み継いでいくことが求められています。住環境は良好であることが不可欠ですが、良好な住環境として求められることは、生活者の価値観やライフスタイル、家族構成等、様々な条件が影響していると考えています。そこで、良好な住環境の維持に必要な要素、これらを支える居住者間コミュニティの継続手法を検討し、次の世代に「住み継がれる」要件を明らかにしています。

●住宅団地の共用施設・空間利用によるコミュニティ形成に関する研究

住宅団地内の共用施設・空間の使われ方から、居住者間コミュニティ形成の要因を把握しています。特に活動の継続性に着目し、継続できる「場」とその「場」を活用するための仕組みも併せて明らかにしています。



サンシティ(東京都板橋区)の共用空間利用状況



木工クラブが製作したベンチ

●住宅団地における地域施設および高齢者の外出行動に関する研究

早期に高齢化が進行している公共住宅団地を対象に、団地内外の施設配置と団地内居住高齢者の外出行動から、高齢者の日常生活圏を把握し、高齢社会における施設配置基準と外出行動の支援の在り方を検討しています。



2001年



2014年

共同研究の事例

- 分譲マンションの住戸プランの系譜に関する研究（2025-,日本女子大学,総合設計事務所）
- ライフステージによる住みこなし実態に関する研究（2021-2022,住宅メーカー）
- 住み続けられ、住み継がれる分譲戸建て住宅に関する調査研究（2019-2021,住宅メーカー）

主な著書・論文発表

- 生活支援の基礎を学ぶ—介護・福祉・看護実践のための家政学—（共著,建帛社, 2024）
- 古賀他：共働き世帯の在宅ワーク環境について－戸建住宅における住まい方実態に関する研究その2－,日本女子大学大学院紀要 家政学研究科・人間生活学研究科,30号,pp67-74,2024
- 古賀他：大都市中心部に位置する公営住宅における高齢者の買物行動の変化に関する研究-都営戸山ハイツを対象に, 日本建築学会計画系論文集 第721号,pp551-558,2016